



CASE
1

コーヒー&和スイーツも充実

「この場所で出来ることを模索中です」と駅長の佐藤翔太郎さん



[まちなの駅 福蔵 佐忠商店 | <https://www.facebook.com/hukkura4190/>]

〒019-0701 秋田県横手市増田町増田字中町 94 / TEL・FAX0182-45-4190
E-mail : machinoekihukkura@gmail.com



何度も利用してもらえる場所となるために「福蔵」らしさを大切にしたい

内蔵のある町 増田に来たら立ち寄ってほしい

横手市増田地区は内蔵のある懐かしい街並に注目が集まる人気のエリア。平成 25 年 12 月に七日町商店街通りを含む一角が、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。県内外からの観光客の姿も多くなった。

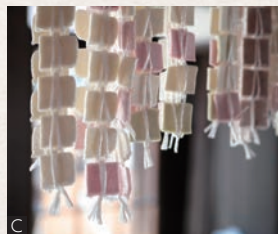
七日町商店街通りに「まちなの駅福蔵」が誕生したのは平成 26 年。2 年後に旧佐藤與五兵衛家に移転し、現在に至っている。福蔵の母体である「佐忠商店」は昭和 47 年創業。秋田産餅米を使用し、独自の製法で作った干し餅を広く販売している。今回取材した佐藤翔太郎さんは、佐忠商店三代目にあたる。「現店舗は平成 27 年に取得し改修した後にオープンしました。このことに積極的だったのは、佐忠商店初代である祖父。私は駅長として、この場所で何をすべきなのかを考えました」と当時をふりかえる。

旧佐藤與五兵衛家は、明治 12 年築の総漆の内蔵と同 18 年築の主屋の構造。主屋部分では佐忠商店自慢の干し餅関連商品や地元の特産品を販売するほか、カフェスペースを配置。主屋・内蔵とも、無料で見学できる。

気軽にひと休みできる空間づくりを

佐藤駅長にとって、新店舗展開のテーマは「散策中のお立ち寄り場所として、福蔵ができることは何か」だった。その結果、①無料の蔵開放、②気軽に立ち寄れる休憩スペース、③ソフトクリームなどスイーツと淹れたてコーヒーが揃うカフェ、という現在のスタイルにたどり着いた。特にコーヒーは地元の酒蔵「日の丸醸造」の仕込み水で淹れる本格派だ。

カフェ充実のために和スイーツの開発にも力を注いだ。当センターのよろず支援拠点の助言を受け、今夏から「冷やしぜんざい」を販売する。「現在、販売中の餅屋のぜんざいと夏の冷やしぜんざいを看板にしたい」と佐藤駅長。今後もカフェの充実を図り、立ち寄りたくなる空間づくりに力を注いでいきたいと話してくれた。



- A 夏季限定の「冷やしぜんざい」350円。冷たい飲み物付きセットは550円～。
- B 内蔵見学もおすすめ。主屋にも古い帳簿や道具類が展示されている。
- C 店頭では看板商品の干し餅関連商品なども販売。懐かしいふるさとの味だ。

事業概要 秋田県よろず支援拠点

秋田県内の中小企業・小規模事業者のための経営相談所として、売上拡大、経営改善など経営上のあらゆるお悩みの相談に対応します。コーディネーターを中心とする専門スタッフが適切な解決方法を提案します。

お問い合わせ あきた企業活性化センター/秋田県よろず支援拠点 (018-860-5605) まで。